

第 6 次 地 域 管 理 経 営 計 画 書
第 6 次 国 有 林 野 施 業 実 施 計 画 書

(北薩森林計画区)

(第 2 次変更計画)

計画期間

自	令和 2 年 4 月 1 日
至	令和 7 年 3 月 31 日

(令和 5 年 3 月変更)

九州森林管理局

第 6 次 地 域 管 理 經 営 計 画 書

(北薩森林計画区)

(第 2 次 変 更 計 画)

計 画 期 間

自 令 和 2 年 4 月 1 日
至 令 和 7 年 3 月 31 日

(令 和 5 年 3 月 変 更)

九 州 森 林 管 理 局

地域管理経営計画の変更について

[変更理由]

次の理由から国有林野管理経営規程（平成 11 年 1 月 21 日農林水産省訓令第 2 号）第 6 条第 9 項に基づき変更する。

- 1 令和 3 年 7 月及び 8 月の大雨による林道被害、現地の林分状況、森林資源の保続の確保等を踏まえ、伐採総量、更新総量及び保育総量を変更する。

なお、本変更計画の効力は、令和 5 年 4 月 1 日より生じる。

注 1： 本文については、変更等を行う項目に係る部分を掲載しており、文中の下線部が変更等の個所である。

注 2： 各表の数値の計は四捨五入のため、必ずしも一致しない。

目 次

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項	1
(4) 主要事業の実施に関する事項	1
① 伐採総量	1
② 更新総量	1
③ 保育総量	1

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

(4) 主要事業の実施に関する事項

① 伐採総量

(単位 数量：m³、面積：ha)

区 分	主 伐	間 伐	臨時伐採量	計
本 計 画	779,093	<u>596,060</u> (<u>4,844</u>)	<u>20,847</u>	1,396,000

注1 () は、間伐面積である。

② 更新総量

(単位：ha)

区 分	人工造林	天然更新	計
本 計 画	<u>1,339.23</u>	<u>179.38</u>	<u>1,518.61</u>

③ 保育総量

(単位：ha)

区 分	下 刈	つる切	除 伐	ぼう芽整理
本 計 画	<u>3,110.36</u>	170.92	92.06	37.66

第6次国有林野施業実施計画書

(北薩森林計画区)

(第2次変更計画)

計画期間

自 令和2年4月1日
至 令和7年3月31日

(令和5年3月変更)

九州森林管理局

国有林野施業実施計画の変更について

[変更理由]

次の理由から国有林野管理経営規程（平成 11 年 1 月 21 日農林水産省訓令第 2 号）第 14 条第 2 項に基づき変更する。

- 1 令和 3 年 7 月及び 8 月の大雨による林道被害、現地の林分状況、森林資源の保続の確保等を踏まえ、水源涵養タイプにおける施業群別面積、伐採総量、更新総量及び保育総量を変更する。

なお、本変更計画の効力は、令和 5 年 4 月 1 日より生じる。

注 1： 本文については、変更等を行う項目に係る部分を掲載しており、文中の下線部が変更等の個所である。

注 2： 各表の数値の計は四捨五入のため、必ずしも一致しない。

目 次

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの 伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量 ………	1
(2) 水源涵養タイプの施業群別面積等 ……………	1
(4) 伐採総量 ……………	2
(5) 更新総量 ……………	3
(6) 保育総量 ……………	3

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

施業群	面積	取扱いの内容	伐期齢等	
施業群	スギ・ヒノキ普通伐期	3,640.18	伐採箇所の縮小、分散化による皆伐新植を行う	スギ 50 ヒノキ55
	スギ長伐期	3,493.44	伐採箇所の縮小、分散化、長期化による皆伐新植を行う	70
	ヒノキ長伐期	11,023.71	伐採箇所の縮小、分散化、長期化による皆伐新植を行う	80
	アカマツ長伐期	23.34	伐採箇所の縮小、分散化、長期化による皆伐新植を行う	80
	ケヤキ長伐期	16.82	伐採箇所の縮小、分散化、長期化による皆伐新植を行う	150
	その他人工林	150.71	伐採箇所の縮小、分散化による皆伐新植を行う	60
	保護樹帯	1,408.74	被害木等について択伐を行う	60
	スギ・ヒノキ複層林	764.59	伐採箇所の縮小、分散化による複層伐を行う	短期型 80 長期型100
	天然林	18.93	伐採箇所の縮小、分散化、長期化による択伐及び皆伐を行う	60上
	天然林長伐期	526.24	伐採箇所の縮小、分散化、長期化による択伐及び皆伐を行う	100
	天然林広葉樹	3,451.77	伐採箇所の縮小、分散化による択伐及び皆伐を行う	35
	しいたけ原木	206.93	皆伐1回目以降は、ぼう芽更新を行う	15
	施業群設定外	—		
合計	24,725.40			

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 伐 採 時 量	計		
山地災害防止タイプ	12,292	<u>83,216</u> (660)	<u>95,508</u>				
自然維持タイプ	—	— (—)	—				
森林空間利用タイプ	—	— (—)	—				
快適環境形成タイプ	—	— (—)	—				
水源涵養 タイプ	スギ・ヒノキ普通伐期	<u>648,514</u>	<u>22,627</u>	<u>671,141</u>			
	スギ長伐期	13,400	111,547	124,947			
	ヒノキ長伐期	4,778	<u>367,871</u>	<u>372,649</u>			
	その他人工林	1,476	—	1,476			
	スギ・ヒノキ複層林	<u>73,850</u>	10,799	<u>84,649</u>			
	天然林広葉樹	2,151	—	2,151			
	天然林長伐期	2,163	—	2,163			
	しいたけ原木	19,611	—	19,611			
	保護樹帯	858	—	858			
	計	<u>766,801</u>	<u>512,844</u> (4,184)	<u>1,279,645</u>			
合 計	<u>779,093</u>	<u>596,060</u> (4,844)	<u>1,375,153</u>	<u>20,847</u>	1,396,000	—	1,396,000
年 平 均	<u>155,564</u>	<u>120,465</u> (981)	<u>276,029</u>	<u>3,171</u>	279,200	—	279,200

注1 () は間伐面積である。

年平均については、増減した量を残計画年数で除し、従前の年平均に増減させ記載した。

四捨五入の関係で計と内訳の合計が一致しないことがある。

(再掲) 市町村別内訳

単位 m³

市町村名	林地				林地以外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量		
阿久根市	32,713	30,179	62,892			
出水市	209,568	143,059	352,627			
薩摩川内市	30,849	46,839	77,688			
伊佐市	419,829	215,023	634,852			
さつま町	86,134	160,960	247,094			

注 臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

単位 ha

区分		山地災害防止タイプ [°]	自然維持タイプ [°]	森林空間利用タイプ [°]	快適環境形成タイプ [°]	水源涵養タイプ [°]	合計
人工造成	単層林成	22.34	—	—	—	1,236.36	1,258.70
	複層林成	9.75	—	—	—	70.78	80.53
	計	32.09	—	—	—	1,307.14	1,339.23
天然造成	天然下種第1類	—	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	0.59	—	—	—	86.54	87.13
	ぼう芽	—	—	—	—	92.25	92.25
	計	0.59	—	—	—	178.79	179.38
合計		32.68	—	—	—	1,485.93	1,518.61

(6) 保育総量

単位 ha

区分		山地災害防止タイプ [°]	自然維持タイプ [°]	森林空間利用タイプ [°]	快適環境形成タイプ [°]	水源涵養タイプ [°]	合計
保育	下刈	91.02	—	—	—	3,019.34	3,110.36
	つる切	10.54	—	—	—	160.38	170.92
	除伐	10.54	—	—	—	81.52	92.06
	ぼう芽整理	—	—	—	—	37.66	37.66
	計	112.10	—	—	—	3,298.90	3,411.00